

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会	代表者	片上 修二郎	法人・事業所の特徴	瀬戸内海のほぼ中央に位置しており、海と山に囲まれた自然豊かな島の中にゆったりと佇む事業所は、古民家を移築したもので木のぬくもりに溢れている。広々とした敷地の中には、グループホームやデイサービスセンター、近隣には保健センターもあり福祉の拠点となっている。 多くの職員が開設当初から勤務しており、チームワークを大切に笑顔で利用者さん一人ひとりと向き合いながら、夢のある暮らしの実現に向けて持っている力を発揮して頂けるよう支援している。
事業所名	今治市社協 小規模多機能ゆいの村	管理者	小池 由貴		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	0人	1人	1人	4人	1人	0人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			全員参加でよく話し合いができるしており、適切に評価できているように思う。	改善計画に沿って取り組んでいるか、ミーティング等を通じて振り返りを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所が身近な場所となるように、誰に対しても気持ちの良いあいさつを心がけ、居心地の良い環境を自分たちで作っていく。	「全員挨拶」を月間目標に掲げ、どんな時も気持ちのよい挨拶で接し、全員で居心地の良い空間づくりに努めることができた。	事業所に訪れることが少ないので評価が難しいが、環境面は定期的に点検する機会があるようだが服装面などについても定期的に点検するような仕組みがあってもよいのではないかと。	スペースの関係で運営推進会議を事業所内で実施するのは難しいが、時には中の様子をみてもらい、率直な意見を頂く機会をつくる。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所で開催するイベント等を通じて事業所のPRを行い、多くの人に見学に来ていただき、事業所の理解を深めていく。	イベントを通じて事業所のPRを行ったり見学会を実施したりはしたが、事業所のことを広く知ってもらうまでには今一步至らなかった。	事業所の名前は聞いたことがあっても、事業所の機能までは十分に知られていないのではないかと。	民生児童委員会や老人クラブの会に参加させて頂き、事業所を知って頂く取り組みを積極的に行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者さんとつながりのある人と事業所もつながっていけるように、お互いに声をかけやすい関係づくりを実践していく。	利用者さんと接点のある方にはなるべくアプローチしながら利用者さんが今までの暮らしを継続できるよう協力し合うことができた。	近隣の方などつながりがある人と事業所も一緒に関わることができている。	利用者さんの繋がりがあある人と一緒に繋がることにより、今までの暮らしが継続でき、心配事なども共有できるようにしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	利用者さんの心配ごとを報告した時に、地域の心配事についても意見を出し合い、地域の問題として皆で考え改善していくことができるようにしていく。	事業所の報告事項等に時間がかかり、地域の心配ごとや課題などを会の中で一緒に考える時間を持つことはできなかった。	事業所の報告は受けるが、実際に事業所のことを良く理解できていない気がする。見学等をもっと行って事業所のことをもっと理解する必要がある。	事業所で行事をする時などは運営推進会議のメンバーの方にも案内をして一緒に交流する。そこからの気づきなど意見を頂きながら改善に繋げていく。
F. 事業所の防災・災害対策	今後も近隣住民の方や消防団、自主防災会、民生委員さんにも協力いただきながら定期的に消防訓練を実施していく。	定期的に防災について考えたり、訓練を行っている。地域との協働による消防訓練も年に1回ではあるが実施して皆で防災意識を高めることができた。	消防訓練だけではなく、非常災害（台風や地震等）によって想定される水害や土砂災害に対応できるよう訓練を重ねることが大切ではないかと。	事業所の立地条件などを考慮しながら起こりうるであろう災害に備え細かな想定の実施していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 21 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	9 人	人	人	13 人

前回の改善計画	
情報を共有する時に、可能な限り事前にミーティングを行い、難しい場合でも文書だけではなく、口頭で説明、伝達することで、もっと確実に統一したケアを実践していく。また、消極的にならず利用者さんのことを「知りたい」と言う気持ちを大切にして積極的にかかわること、そして知った情報を随時共有することで、チームが連携して利用者さん・家族の安心と信頼関係を早期に築いていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
チーム全体で情報共有をこまめに行いながら統一したケアを実践することができた。初期の段階ではお互いぎこちなさはあるが、個々のペースや気持ちを感じ取りながら積極的に関わることができた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	9			13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	12			13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6	7			13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	8	2		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人の情報やニーズを利用開始前にミーティングや回覧、申し送りノート等で情報共有や確認を行っている。又、本人や家族の不安や必要としていることに皆で目を向けることができるように送迎、訪問、通いの時に声かけに力を入れている。笑顔で接することやアットホームな雰囲気作りにも心がけている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用者さんによっては、これまでの生活があまり見えなかったり、本当に必要としている支援が何かわからないと思うことがあり、必要としている支援や気遣いができていないと感ずることがある。家族の意向や思いも見えにくい部分があり、関わりが難しい時がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	利用開始をしてからも、新たに知った情報など申し送りや情報シートに追記して皆で情報共有しているが、利用開始後の初回ミーティングの時に、皆で本人・家族が必要としている支援について話し合い、統一したケアを行っていく。本人と家族の気持ちが同じ方向に向くように家族とのコミュニケーションにも力を入れる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 21 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	11 人	人	人	13 人

前回の改善計画	スタッフ個々で感じている支援内容をミーティングで取り上げ検討し合い、できるだけ本人の思いに近づけるような目標 (ゴール) を決める。その目標について修正が必要な場合は随時、話し合う機会を設け、皆の意見を一つにして、統一したサービスが提供できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の目標について疑問を感じたり修正が必要な時は、その都度話し合う機会を設けて、本人・家族とも連絡を取りあいながら、皆でケアの方向性を統一することがなんとかできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	11	1		13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	11	1		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		12	1		13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	8	1		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者一人ひとりの目標について、定期的開催するカンファレンスで、前回のカンファレンス以降の提供したサービス内容について再検討を行ったり、新しいニーズや利用者個々の生活に対する思いや希望を踏まえたケアが適切に提供できているかどうかの話し合いを行っている。少しでも目標達成に近づけるように統一したケアの提供ができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の「～したい」がわかっているつもりでも、それが本当の気持ちなのか? と悩んでしまう時がある。潜在的な気持ちをくみ取ることができていないと感じることがある。変化の少ない人や比較的元気な利用者さんは、支援が手薄になってしまう場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人の輝きシートを充実させていく。本人の楽しみややりたいこと、思っていること等を会話や態度からキャッチして記入していく。輝きシートを常に活用しながら支援を行うことで、本人の本当の気持ちや思いに近づいていく。又、家族にも本人の気持ちを伝えながら、本人の気持ちを感じながら一緒に本人を支えて行けるような支援をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 21 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	10 人	人	人	13 人

前回の改善計画	「私の暮らしシート」や「フェイスシート」をもっと共有しやすくして、一人ひとりのこれまでの暮らしぶりが描けるようにしていく。利用者さんのことを知りたい・知ろうという気持ちを大切に知った情報は「私の暮らしシート」や「フェイスシート」に追記していく。こういう記録や関わりを持つことで自分らしく生きるための支援をチームで実践していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	「私の暮らしシート」や「フェイスシート」を共有しやすくすることで、利用者個々のこれまでの暮らしぶりが描きやすくなるとともに、チームで統一したケアに繋がりがやすくなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	5	7		13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	11			13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	7	4		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	7			13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	9			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の気持ちや体調に変化が起きた時は皆で情報を共有し、観察をしっかりと行いながら色々な方法を試し、原因をつきとめよりよい支援に繋がるように努力できている。本人はもちろん、家族の気持ちや体調の変化にも対応できるよう、日々スタッフ内で報告・連絡・相談しながらケアを実践している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者さんによっては、心の声、以前の暮らし方を十分把握できていない方もいる。今以上に日常生活を快適にしていくには…と在宅日の暮らし方について深く考えることが出来ていないため、生活の中での困りごとを見過ごしているかもしれない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 在宅日の家での暮らし方に目を向け、日常生活をもっと豊かにしていく。そのためにも、利用者個々の 1 日の生活のリズムの聞き取りを行い、大まかな流れをつかむ。そこから、日課や楽しみ、困りごとや不安を聞いたり感じとったりしながら支援に繋げていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 21 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	6 人	3 人	人	13 人

前回の改善計画	<p>家族が遠方にいる利用者さんは色々な「困った」が生じた時、知らず知らずのうちに地域の人達から守られている。しかし、そのことを家族が知らないことで地域との関係性を悪くしてしまうことも考えられる。そのため日々の生活の様子や近所でお世話になったこと、出来事等を随時家族に伝えることで家族の方にも地域に守られていることを感じて頂き、遠く離れていてもふるさとへの気持ちをつなぐ支援(密な連絡)を行い、一緒に感謝したりと関わりを持ちながら取り組んでいく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>近所の人にお世話になったことがわかると、そのことを遠方に住む家族にもすぐに連絡することができた。また、家族と利用者をつなぐため、利用者さんに変化がある都度状況を報告したりしたが、家族を巻き込めていないと感じる所もあった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	4	8	1		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	8	2		13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	8	3		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	6	5		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>会話の中から生活の様子や人間関係等を知りこれまでの地域の中での接点が切れないよう皆で情報共有しながら支援している。家族とは送迎時や訪問時を利用して日々の様子を伝えたり、変化があった時はその様子等を話すようにしている。できるだけ本人の生活の意向に沿った支援ができるように家族を巻き込むことを意識している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>「家族も一緒に」という気持ちではいるが、家族を巻き込めていないと感じることもある。家族のあり方の変化に伴い薄れてきている関係性を、家族の背景も知った上で、どのような関わりを持ってもらうことが本人も含めた家族の再構築に繋がるのかスタッフ個々でも色々な思いが交錯し、なかなか前に進めない部分もある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>地域での暮らしの支援というよりも、今回は家族とどう共に進んでいくかを考えたい。家族会を利用者さんの行事に併せて案内し、開催していたが、家族会単独で開催し、なるべく多くの家族に参加して頂けるようにする。スタッフも参加できるスタッフは参加するようにし、家族間同士でも情報交換、交流することでリフレッシュはもちろん、新しい活力に変えて本人・家族・スタッフで共にという絆を深めていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 21 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	無し
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	6	6	1		13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	9			13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	8			13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	9			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること その時の本人の状態や家族のニーズに合わせて柔軟な対応ができている。本人の希望や要望を確認しながら「通い」「訪問」「泊り」のサービスを利用して頂くだけではなく、これまで本人が大切にしてきた地域資源（老人クラブの活動や趣味の会の集まり、ふれあいいいききサロン）等にも継続して参加して頂けるよう工夫している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 柔軟な対応はできているが、利用定員の都合上サービスの均一化が難しい場合がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 現状を維持しながら一人ひとりに柔軟な対応を継続していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 21 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

6. 連携・協働

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	3 人	1 人	1 人	13 人

前回の改善計画
<p>地域のイベントには今後も積極的に参加してふれあいを大切にしていく。また地域の各種団体の方や保育園児から小・中・高校生が事業所に交流やボランティア活動で来所してくれるが、これからも地域の方が遊びに来てくれたり、相談に来てくれたりと頼ってくれるような「お互いさま」の関係を築いていく。より多くの方に事業所のことを知ってもらうためにも見学会を開いたり、情報誌等で事業所をアピールしていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>地域のイベントには積極的に参加できた。事業所のイベントに併せて、見学会を行ったり、情報誌でも見学会の案内や事業所を知ってもらうための情報発信を行った。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	3	9		1	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	7	2		13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	5	6	2		13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	8		1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>各地域で行われている行事には積極的に参加できている。事業所で行う夏祭りや避難訓練など、地域の方々にも協力いただきながら連携・協働体制が整っている。他サービス事業所とも必要時には相談しながら適切なサービスが提供できるようにしている。中学生や高校生など職場体験やボランティア等も積極的に受け入れたり、自由な見学、情報誌等で地域に発信する機会も作りながら、介護・福祉の拠点となれるように取り組んでいる。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>特になし。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>今後も地域にとって必要な場所であるために、積極的に地域行事には参加しながらつながりを広げていく。地域の方にも気軽に足を運んで頂けるよう、事業所を知って頂く取り組み (見学会の開催や情報誌等での事業所アピール、事業所でのイベント開催等) を継続して行っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 21 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

7. 運営

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	9 人	1 人	人	13 人

前回の改善計画  
アンケート調査を行った時は、ミーティングでアンケート結果を振り返る時間を持ち、その意見を参考にサービス内容やケア内容に反映し、事業所の質を上げる努力をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
ミーティングを活用しアンケート結果を振り返る時間を設けた。その意見を参考にレクリエーションの内容等工夫して利用者さんの楽しみの向上につなげることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	11			13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	9			13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	8	1		13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	10	1		13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
スタッフ全員が意見を言いやすい環境である。苦情ではないが、家族や地域の方から意見を頂いた時は、スタッフ間で検討しながらより利用しやすく、相談しやすい事業所であるように、迅速かつ丁寧な対応ができています。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
特になし。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
今後もアンケート結果の振り返りを行うことと、利用者・家族だけではなく、色々な方から意見を頂く機会を作り事業所の質を向上させていく。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 21 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	9 人	1 人	人	13 人

前回の改善計画	
外部研修に関しては年間計画を立て、興味のある研修を選んで参加できるよう便宜を図り研修へ参加してもらっている。内部研修に関しても自発的に研修に参加して頂けるように計画を立てて勤務と重ならないようなしくみを作っていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
内部研修は開催時間の関係上、参加できるスタッフがどうしても限られてしまうことと私用等が重なり思うような参加にはつながっていないが、研修に参加したスタッフがミーティングで研修内容の報告を行うことでスタッフ皆が情報共有し質の向上に努めた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	8	1		13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	10	2		13
③	地域連絡会に参加していますか	2	6	4	1	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	11	1		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修に参加したスタッフは研修報告をミーティングで行いながら、スタッフ全体で情報共有し、意見交換をしたり、より良い支援の方法について話し合ったりできた。 ヒヤリハットの記入をすぐに行い、ミーティングで再確認しながらよりよい支援の方法へと改善することでリスクマネジメントに取り組んでいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自分自身の資格取得やスキルアップの為の自発的な研修参加が余りできていない。内部研修の研修内容がマンネリ化してきているせいもあるのかもしれないが、内部研修の積極的な参加が乏しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ほんの些細なことでもリスクにつながると感じたことは、簡単ヒヤリハットを記入していく。日常のケアの現場にはいろんなリスクが潜んでいる。スタッフ全員が、それを予見しながら支援することで事故を未然に防いでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 21 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	6 人	人	人	13 人

前回の改善計画	
限られた時間内に限られたスタッフで利用者さんの多様なニーズの対応をしていかなければならないケアの現場では時にイライラしたり感情的になることもあるが、感情をコントロールできずに利用者さんに怒りをぶつければ虐待につながっていく。自分で感情コントロールができる技術を身に付けることが大切だが、こういう時こそスタッフがチームで関わり、別のスタッフがそっと交代し気分転換を図る時間を作ることで非意図的な虐待も 0 を目指す。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
意識していても時に感情的になることもあるが、スタッフ同士で交代したり助け合いながら適切な対応ができた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	1			13
②	虐待は行われていない	11	2			13
③	プライバシーが守られている	8	5			13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	6			13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	10	3			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	スタッフも時に感情的になったり、無関心であったりすることもあるがスタッフ同士が助け合い、利用者さんに不快感や疎外感などの負の感情を持たせないように対応できた。個人情報の取り扱いについても、内部・外部研修で毎年研修を受けながら必要な知識と技術を身につけている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	意識はしているが、自分の気持ちに余裕のない時は感情的になってしまうことがある。 利用者の無意識に行っている行動 (トイレの戸を閉めずに排泄したり、トイレに入る前にズボンを下ろそうとする行為) に対して、すぐに駆けつけ対応はしているが、プライバシーが守られていないと感ずることがある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	認知症の進行により判断力や理解力が低下してきている利用者さんに対して、どんな時も人権が守れるように、行動等を見守り、早めの声かけや対応をしていく。